



イヌシデの実と葉

ケヤキの実と葉



イヌシデの実は小さな葉状である果苞の基部についた状態で落ちる。
 その際、ケヤキと同様に風に乗って水平方向に回転しながら遠くへ飛ぶ。

ケヤキの実には小さな葉の葉腋（葉の根元）についており、この枝葉と一緒に落ちる。
 この際に葉を翼代わりにして風に乗る、水平方向にくるくると回転して遠くへと飛ぶ仕組みになっている。

路傍植物園の正門近くではケヤキやイヌシデの落ち葉が積もっている。落ち葉の中を探すとこれらの実を見つけることができる。